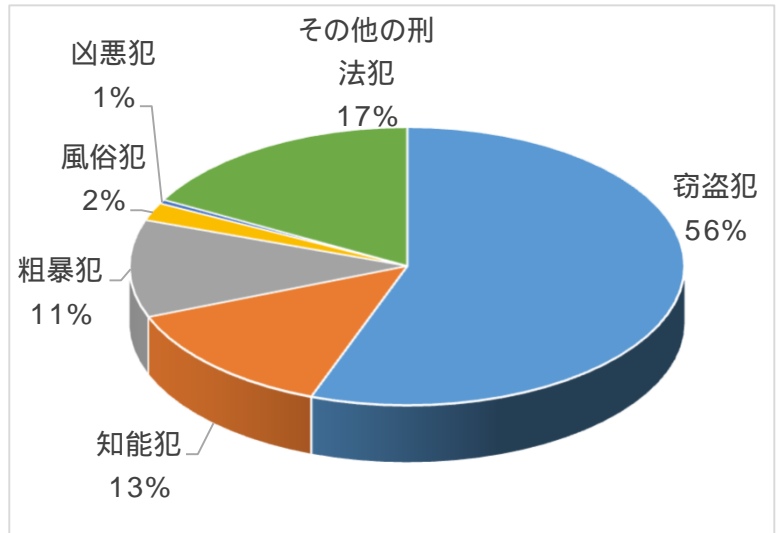


令和4年 刑法犯認知件数の内訳

罪種別	件数
窃盗犯	1,804 (+18)
知能犯	435 (+46)
粗暴犯	368 (+8)
風俗犯	68 (+24)
凶悪犯	15 (-6)
その他の刑法犯	554 (-1)

令和4年 刑法犯罪種別割合



令和4年の犯罪率が低い方からの順位

- 秋田県 (198.0件)
- 岩手県 (222.0件)
- 長崎県 (250.1件)

犯罪率とは、人口10万人あたりの刑法犯認知件数をいう。

令和4年の刑法犯認知件数は3,244件(前年比+89件)であり、2年連続増加
 罪種別で最も増加しているのは、知能犯であり、その9割にあたる394件が詐欺
 認知件数総数の約5割をしめる窃盗犯(1,804件)のうち、乗物盗が増加しており、
 特に無施錠による自転車盗の増加が目立つ。

無施錠による被害状況

【認知件数及び無施錠率の令和3年と令和4年の比較】

	R4		R3	
	認知件数	無施錠率	認知件数	無施錠率
自転車盗	254	86.2%	184	79.9%
車上ねらい	76	86.8%	96	85.4%
住宅対象侵入盗	58	69.0%	49	51.0%
オートバイ盗	15	53.3%	9	33.3%
自動車盗	4	100.0%	7	71.4%

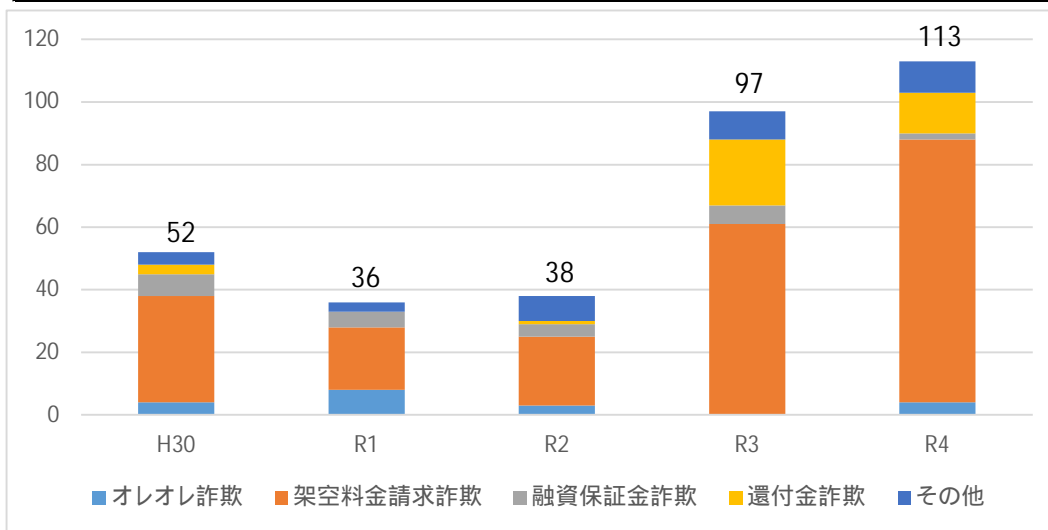
無施錠率は、認知件数のうち、鍵を掛けていない状態又はエンジンキーが付いたままで被害に遭った割合

二セ電話詐欺事件の発生状況

【過去5年間の概況】

1 認知件数(内訳含む)の推移(過去5年間)

		H30	R1	R2	R3	R4
主な手口	オレオレ詐欺	4	8	3	0	4
	架空料金請求詐欺	34	20	22	61	84
	融資保証金詐欺	7	5	4	6	2
	還付金詐欺	3	0	1	21	13
その他		4	3	8	9	10
総計		52	36	38	97	113



2 被害額(内訳含む)の推移(過去5年間)

		H30	R1	R2	R3	R4
主な手口	オレオレ詐欺	6,476,000	16,600,000	4,100,000	0	52,500,000
	架空料金請求詐欺	73,126,652	176,636,400	38,009,060	222,728,946	129,241,534
	融資保証金詐欺	4,882,840	5,008,658	4,122,950	19,805,598	610,000
	還付金詐欺	1,995,435	0	752,246	14,636,883	8,704,578
その他		21,150,000	7,591,000	65,271,498	11,721,477	10,556,580
総計		107,630,927	205,836,058	112,255,754	268,892,904	201,612,692

「その他」とは、金融商品詐欺、交際あっせん詐欺、ギャンブル詐欺など6手口がある。